



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



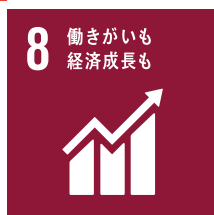
12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に
具体的な対策を



5 ジェンダー平等を
実現しよう



8 働きがいも
経済成長も



10 人や国の不平等
をなくそう



3 すべての人に
健康と福祉を



11 住み続けられる
まちづくりを



SDGs レポート 2018

Sustainable Development Goals Report

株式会社エクソル

京都本社 〒604-8152
京都市中京区烏丸通錦小路上ル手洗水町 659 烏丸中央ビル

東京本社 〒105-0012
東京都港区芝大門 2-4-8 JDB ビル

お客様相談窓口

 0120-33-1139

www.xsol.co.jp



SDGs ～世界を変えるための17の目標～

SDGsとは、2015年9月の国連サミットにおいて、193の加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に掲げられた「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」のことです。社会が抱えるさまざまな問題に対して、世界全体で2030年の解決を目指す17のゴール(目標)と、それらの目標ごとに具体的な169項目のターゲット(達成基準)から構成されています。

先進国・途上国すべての国を対象に、「経済・社会・環境という3つの側面においてバランスがとれ、統合された形で」、そして「誰一人取り残さない」ことを強調し、世界共通の目標として、包括的で持続可能な社会の構築を目指すものです。

エクソルの想い

エクソルは2001年の設立から太陽光発電ひと筋に取り組んできた「太陽光発電の総合企業」です。

太陽光発電は、無限に降り注ぐ太陽エネルギーを活用して電力を創ることができる、クリーンかつ自給国産エネルギーです。この太陽光発電の普及を促進することで、低迷する日本のエネルギー自給率の改善、CO₂排出量削減による地球環境に貢献していくことが、企業としての使命と考えています。



エクソルのSDGsへの取り組みについて

エクソルは「再生可能エネルギーである太陽光発電の普及促進」という基幹事業を通じて、エネルギー分野、気候変動に関わる分野に貢献することができるものと考え、4つの目標を特定しました。

また、エクソルの未来を担う存在でもある従業員の存在なくしては、これらSDGsの目標に貢献することは不可能であるため、従業員、さらにはその家族にとっても最適な環境を整えることが重要であることから、「ダイバーシティ&インクルージョン」の取り組みとして、3つの目標を特定しました。

再生可能エネルギーの普及促進、ダイバーシティ&インクルージョンの推進により、地球環境、私たちを取り巻く生活環境の向上につながるものと考え、さらに2つの目標を特定しました。これらの目標に対して総合的に取り組むことにより、持続可能な社会の実現に貢献します。

再生可能エネルギーの普及促進



生活環境の向上



ダイバーシティ&インクルージョン



太陽光発電の普及促進によりエネルギー自給率の拡大、地球環境保全に貢献するとともに
会社の未来を支える従業員やその家族にとって最適な環境を整えることが
持続可能な社会の形成につながる



クリーンな自給エネルギー太陽光発電を 未来のエネルギーとして次世代に つなぐために

温室効果ガス排出量の増加による地球温暖化への対策が深刻な問題として世界規模で議論されており、脱炭素化に向け再生可能エネルギーへとシフトしようとしています。国内でも、2018年の「エネルギー基本計画」において、再生可能エネルギーの「主力電源化」を目指すことが明記されました。

エクソルは、太陽光発電を「国民のエネルギー」として普及させるために、安心・安全をお届けすることが最重要であると考えています。そのため、機器だけでなく施工をはじめとするすべての品質・クオリティ向上に努めています。

さらに、O&Mや各種保証制度の充実を図ることで、長期安定稼働の実現に寄与します。住宅向けから大規模発電所に至るすべてのフィールドでトータルプロデュース、ソリューションをご提案ご提供し続けることで、未来のエネルギーとして次世代につなげていきます。

太陽光発電の普及促進

太陽電池モジュール累計出荷量 1.4GW以上

これまで提供してきた太陽電池モジュールの累計は1.4GWを超えました。また、太陽電池モジュールだけでなく、太陽光発電システムを構成するすべての機器を取り扱うことで、ユーザーの皆様にも最適なシステムをご提供することに努めています。

長期安定稼働できる発電所の建設

太陽光発電システム設置・施工件数 年間1,200件以上

住宅から産業用まで、年間1,200件以上の太陽光発電システムの設置・施工を手掛けています。資源エネルギー庁の要請により策定された「太陽光発電事業の評価ガイド」の策定委員会にも参画した際には、蓄積してきたノウハウを生かし、太陽光発電所の評価基準制定に寄与しました。

あらゆる太陽光発電システムの メンテナンスを実施

他社施工の発電システムでも対応

住宅から産業用、たとえ他社施工の太陽光発電システムでも、メンテナンス対応しています。すべての太陽光発電システムが長期間安定的に稼働し続けるよう、あらゆるステータスの太陽光発電システムのメンテナンスを行うことで、再生可能エネルギーの主力電源化に貢献します。



使用済み太陽電池モジュールを適正に処理するための情報提供 自社製品の化学物質含有率を公表

太陽電池モジュールは、故障やその他の理由で将来的には廃棄されることとなります。廃棄時に円滑なリサイクルまたは処理が実施されることで資源の有効活用が成されるよう、使用している化学物質の含有状況を公表しています。



誰もが安心できる 「太陽光発電品質」のために

自社発電所を保有し、発電量データや施工にまつわるノウハウの蓄積や、新製品・サービスの実証などに活用しています。

誰もが安心できる「太陽光発電品質」を提供し続けるため、また地球の未来に向けた環境貢献を続けるため、継続した技術・製品開発に取り組み続けます。





多様性の理解と人の絆がつくりだす 人と会社がともに成長し続ける 環境づくりのために

人材の多様性、ダイバーシティという言葉が頻りに耳にできるようになりました。

私たちエクソルは、多種多様な意見や価値観が存在するからこそ、さまざまな発想やアイデアが生まれるのであり、お互いの個性を尊重して認め合うからこそ、新しい可能性が創出されると考えています。

だからこそ、性別や国籍、年齢や職歴の違いを理解し、尊重する精神を醸成することで、会社と社員が共に成長していける環境づくりに取り組んでいます。

また、私たちエクソルは、かけがえのない人の絆を育んでいける環境を理想とし、人々が無理なく幸福に生活することを可能とするための働き方を大切にする企業文化が、持続可能な発展につながるものと信じています。



女性の参画および平等なリーダーシップの機会を確保

社員の女性比率47.3%、女性管理職比率27.8%

女性が活躍できる職場環境の整備を推進しています。誰もが自分らしく輝ける社会を目指すことで、個人と組織の持続的成長につなげています。



結婚出産後のキャリア開発をフォロー

出産・育児休暇取得後の復職率100%

これまでに育児休暇を取得したすべての社員が復職しています。女性社員はもちろん、男性社員においても、育児休暇取得から現場復帰までを支援しています。

社員とその家族の幸せも考えたメリハリのある働き方

ファミリー休暇制度、有給休暇の連続取得を推奨

3日連続での有給休暇取得を推奨するなど、会社と社員だけでなく、その家族も輝ける、メリハリのある働き方を促進しています。



シニア世代が活躍できる環境づくり

シニア契約社員制度の創設

定年退職前と同じ条件で定年再雇用を行うなど、シニア世代がその知識と経験を十分に活かし、いきいきと働ける会社を目指しています。



中津川 THE SOLAR BUDOKAN 太陽光発電の力で文化・地域振興

太陽光発電の電力だけを使い音楽フェスティバルを行う「中津川 THE SOLAR BUDOKAN」に2012年から協賛しています。来場するお客様へ太陽光発電の普及活動を行うとともに、中津川市の地域活性化にも貢献しています。

